

## 武漢事務所週間ニュース 21 号

### 武漢から東京へ温直行便を研究する

2011 年 8 月 28 日

昨日、武漢 - 東京便が就航する前に、記者が機内に潜入、研究し、新鮮かつ大きな発見をしてみたいと思う。

まず、機内に入ってみると、百合の香りに引き付けられた。各座席の上部には一輪の百合が貼り付けられており、とても温かいおもてなしを感じた。

国際旅客機サービス部高級副經理の銭江氏によると、直行便は元々は 3 月末に開通する予定で、特注の食事を用意していた。日本への乗客のニーズに応えるため、日本の地域色を生かしたメニュー、例えばサーモン寿司やうな巻き、牛肉のアスパラ巻き、サラダ、新鮮なフルーツ、ホットメニューの主なものは、タラの照り焼き飯、鶏の照り焼き巻き、いくら焼き飯、鯛の焼き物、鶏肉の南部焼を用意している。その他、国内の旅行者には中華メニューを用意している。

銭江の紹介によると、全ての乗務員は日本語を勉強しており、機内放送では中国語、英語、日本語の 3 つの放送をすることである。

### 9 月から日本への旅行の敷居が低くなる。収入や職業によるビザの取得要件緩和

2011 年 8 月 31 日 楚天都市报

かつて、日本を訪れる旅行者にとって資産要件が敷居となっていたが、気軽に旅行できるようになった。9 月 1 日から日本は中国人の観光ビザの要件を緩和した。申請条件から職責や経済能力をはずし、滞在期限も 15 日から 30 日に延長した。

日本が個人旅行者を受け入れるようになってから、資産要件がとても高い敷居となっており、申請人には年収 25 万元（約 300 万円）以上、もしくは同様の資産を有していることを条件に課していた。この度、日本は「一定程度の職責や経済能力」の条件を排除し、9 月 1 日から 1 年間施行する。

旅行の業界人によると、武漢から東京への直行便就航は親日派の消費意欲を喚起させ、日本旅行の価格と観光地の回復の度合いを震災以前の水準に回復さ

せ、日本を訪れる旅行者も漸次的に増加させるとみられている。

春秋国際旅行社総経理齋心氏の分析によると、武漢市民が日本を訪れようとする場合、まず最初に旅行社選びから始まる。その理由の一つ目は言葉が通じないこと。二つ目にはフリープランはツアーに比べ3倍以上の経費がかかるということ。三つ目は武漢には日本領事館がなく、ビザを取るためには北京まで行かなければならないことである。